

音楽科 1年

作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう

担当 名前 田村有実子

【活動の目標】

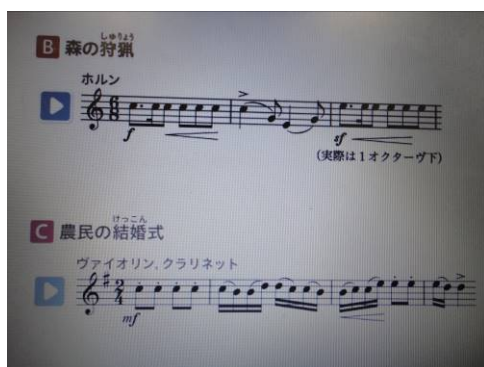
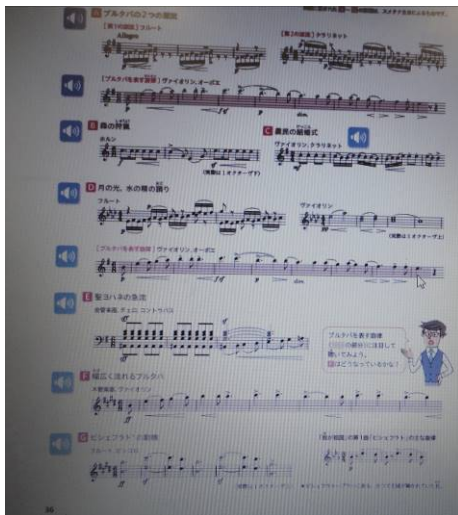
標題のイメージが、音色、速度、旋律、強弱などと深く結びついていることを知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。

【 問 い 】

- ・曲想や音楽の特徴からどのような情景を思い浮かべるだろうか。
- ・母語を話せない中で、この曲はチェコの人々にとってどのような意味があっただろうか。

| 今回 ICT を活用した場面 | 従来 の 活動 |
|---|--|
| A1 教員による教材の提示 デジタル教科書を使用 ・楽曲の背景や作曲者について ・場面ごとに使用されている楽器の音色やメロディの確認 | 教科書や資料集で読んだり写真の資料を見たりする。 CD または DVD で全体合奏を鑑賞する。 |

【資料】



【ICT 機器を活用する良さ】

○作曲者紹介の動画は、教科書や資料集よりも多くの資料が短時間にまとめられており、チェコの風景、雰囲気を感じることができる。

○今までは主な楽器名が記載書されていても、全体合奏で聴くことしかできなかったのが楽器の音色を判別することが難しかった。また、楽譜も提示されていたが音符が読めない生徒には分かりづらかった。しかし、デジタル教科書は演奏している小節の色が変わっていくので分かりやすかった。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・ワークシートをプリントにするかドキュメントで提出するか迷った。今回は手書きの方が限られた時間の中で聴き取ったことを素早く書けると判断し、プリントにした。振り返りはスプレッドシートで行っているが、鑑賞のワークシートは音楽が流れている中でキーボードの打つ音が聞こえるのも違和感があると現時点では考えている。